

4月12日 復活節第2主日

復活したキリスト

ヨハネによる福音書 20章 19～31節

¹⁹ その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。²⁰ そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。²¹ イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」²² そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。²³ だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

²⁴ 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。²⁵ そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」²⁶ さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。²⁷ それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」²⁸ トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。²⁹ イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

³⁰ このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさしたが、それはこの書物に書かれていない。³¹ これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

他の朗読：使徒言行録 4:32～35 詩編 118:2～4, 15～18, 22～24 | ヨハネ 5:1～6

Lectio …読む

ヨハネは、キリストが弟子たちに現れた様子を伝えます。このような話は、紀元30年頃、イエスの死後、ほんの数日のうちにエルサレムに住んでいたキリスト信者たちの間に広まりました。福音記者たちはその後、これらの話を布教のために用いたのです。

ヨハネは、突然イエスが現れた、日曜日の弟子たちの集まりに私たちを導きます。弟子たちは非常に喜びました。イエスは彼らを福音の宣教に派遣し、聖霊を受けるように言います。

不運なことに、十二使徒の一人であるトマスはこの体験を共有できませんでした。他の者たちが、自分たちは生きた主イエスに会った、とトマスに伝えたとき、彼はそれを信じませんでした。むしろ彼は強気にも、イエスの手にある釘の跡に指を入れ、わき腹の傷に触れてみるまで信じないと宣言したのです。

弟子たちは次の日曜に再び集まり、トマスも彼らと一緒にいました。主が現れ、彼らに挨拶をします。驚いたことにイエスは、彼の傷を指で確かめ、わき腹に手を入れるようにトマスに命じるのです。

トマスはそれをしたのでしょうか。私たちには分かりません。おそらくイエスを見ただけで十分だったでしょう。こうしてトマスも、イエスが主であり神であると宣言するのです。

トマスは復活したキリストを見たので、信仰を告白しました。イエスは、後世の肉体的にイエスを

見ることなくイエスを信じている人すべてを、覚えています。

Meditatio …黙想する

ここで描かれている新しく生まれた教会共同体と、あなたが所属している教会との違いは何でしょうか。

復活したイエスはあなたのキリスト者の共同体に現存していますか。ご聖体と御血以外に、キリストを見て、触れることはできるでしょうか。

イエスが十字架上の死の後、生きていることは、あなたの何かを変えるでしょうか。あなたはトマスと共に「わたしの主、わたしの神よ」と言えますか。

イエスが弟子たちに現れた時に言われた言葉の中で、ヨハネが最初に記しているのは「あなたがたに平和があるように」です。これが何を意味するのか、よく考えてみましょう。ひょっとしたら、あなたにもイエスのこの言葉が必要ではないでしょうか。

Oratio …祈る

詩編 118 編からいくつかの節を選び、イエスの復活と、これによって私たちに与えられた永遠の希望とを、天の御父に感謝して祈りましょう。また私たちの共同体にイエスが現存しておられることに感謝を捧げましょう。

Contemplatio …観想する

新約聖書のふたつの朗読箇所が、私たちをより深い観想へと導いてくれます。使徒言行録 4 章 32 ～ 35 節は、使徒たちがイエス・キリストの復活の証人となった様子を説明しています。1ヨハネ 5 章 1 ～ 6 節において、すでに年老いたヨハネは、イエスの復活を受け入れることがどのような効果をもたらすかを考えます。それは私たちが隣人を愛し、困窮している人々と分かち合うことが出来るように導くはずなのです。